

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和5年度期末）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<p>※旭区では、地域運営アドバイザー（会計年度任用職員）2名と地域課職員2名による計4名が地域支援業務を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全地域活動協議会の定例会議等に参加し、地域の声を聞くことでニーズや課題の把握に努め、その解決に向けた助言、提案等の支援を行った。 ・各地活協ホームページの掲載情報にかかる助言や各地域のかわら版（広報紙）の作成支援を行うことで、広く地域活動に興味を持ってもらえるような広報に努めた。 ・転入者パックに町会加入促進チラシを封入、地域活動協議会の中心団体である地域振興会の加入率向上に努めている。 ・希望地域を対象に個別の会計説明会を実施、地域の実務担当者の会計スキルの向上に努めた。

2 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

アンケート調査

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会の構成団体を対象とした令和5年度アンケートにおいて「地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合」が92.0%（参考：令和4年度85.3%）であった。

3 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から積極的に地域に出向いて意見聴取を行いニーズに沿った支援に努めることで、地域との関係性を強化してきたこと、アフターコロナにおける活動に関し、具体的な提案・助言等を継続して実施してきた結果、地域の活動が概ねコロナ禍前のレベルまで回復してきていることは大いに評価できる。引き続き、地域との信頼関係を大切にしながら、きめ細かな支援に努められたい。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。